



2010年2月15日

87%の精神科看護師が「受診のタイミング遅い」

—日本精神科看護技術協会による看護師を対象にした意識調査から—

特例社団法人日本精神科看護技術協会(所在地:東京都港区、会長:末安民生)は、2009年12月、同協会の会員である看護師・准看護師を対象に意識調査を実施しました。その結果、「精神疾患に関する一般の方々の理解」について、精神科の看護師は以下のように感じていることが明らかになりました。

●患者が初めて受診するタイミングは遅い

精神疾患の患者が、医師の診察を初めて受けるタイミングについて、「遅い」または「やや遅い」と感じているという回答の合計は87%に上りました(表1)。また、精神科へ相談に行く事への一般の方々の心理的抵抗が「弱まっている」との回答が44.0%ある反面、「変わっていない」と感じている看護師が50.8%いるという結果がでました。(表2)。うつ病に関する知識の普及は進みましたが、統合失調症を中心とする精神疾患に関する普及啓発はまだ十分でなく、その結果、うつ病以外の精神疾患で特に受診するタイミングが遅いと精神科看護師は感じています。

●精神疾患に関する情報は増えたが、一般の方々の知識は以前に比べ正確とはいえない

精神疾患に関する報道、出版物、ネット上の情報は「増えている」とした回答は74.3%(表3)あるものの、精神疾患に関する一般の方々の知識が以前に比べて「正確になった」と感じている看護師は18.1%にとどまり、「誤解は減っていない」との回答が40.6%という結果になりました(表4)。精神科で勤務する看護師たちは、さまざまなメディアから発信される精神疾患に関する情報について、その信頼性に不安を感じているという実態があります。

●末安民生会長から皆さまへ

これまで「精神疾患」や「精神科病院」という言葉の持つイメージは明るいものではありませんでした。それは、多くの人々にとって「こころの病気」といわれても、身近なできごとではなく、「よく知らない」ことからくる不安や心理的抵抗が背景にあったからだと思えます。こころの健康に問題を抱える方が増えている今、精神科看護のプロである私たちが正しい情報をお伝えし、安心してご相談いただける環境を提供していきたいと考えています。

●井上一夫広報委員長からのお知らせ

当協会では、全国の支部で「こころの健康出前講座」の実施を推進しています。地域や企業のご要望にお応えして、精神科看護師を講師として派遣し、うつ病や認知症、ストレスとの付き合い方等々、臨床で得たノウハウを皆さんにご提供しています。また、「こころのお手入れ はじめてBOOK」を発行し、3月末日まで無料で配布いたします。自分の健康を考えると、「こころの健康」にも目を向けていただくためのミニブックです。毎日の生活に、ぜひご活用ください。

本件に関するお問い合わせ先

特例社団法人日本精神科看護技術協会

東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F

HP:<http://www.jpna.or.jp>

TEL 03-5796-7033

FAX 03-5796-7034

担当 広報(木葉)



特例社団法人 日本精神科看護技術協会について

日本精神科看護技術協会は約 40,000 人の精神科看護師・准看護師で構成された職能団体、すなわち、心の健康に関する専門家集団です。47 都道府県に支部をもち、精神科看護の質の向上、精神疾患を取り巻く社会環境の改善を目指して活動しています。

心の健康が注視される時代にありながらも、正確な知識や情報になかなか手が届かない、多くの一般の人々に向けて、「信頼できる」情報の普及啓発を目的とした、さまざまな取り組みを行っています。

調査要綱

調査対象：日本精神科看護技術協会の会員である看護師、准看護師 1000 名

調査方法：(有)ヘルスケア総合研究所に委託して調査票を郵送 回答数 : 460

[関連資料] 表 1～8

(表 1)

問：精神疾患の患者さんが、医師の診察を初めて受けるタイミングについて、全体的な傾向として、あなたはどのように感じていますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	遅い	177	41.6
2	やや遅い	193	45.4
3	適切である	15	3.5
4	やや早い	7	1.6
5	早い	0	0.0
6	特に傾向はない	33	7.8
	全体	425	100.0

(表 2)

問：精神科へ相談に行く事への一般の方の心理的抵抗は弱まったと思いますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	弱まっている	196	43.3
2	強まっている	27	5.9
3	変わっていない	230	50.8
	全体	453	100.0



(表 3)

問 : 精神疾患についての報道、出版物、ネット上の情報は以前と比べて増えた、あるいは減ったと思いますか
(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	増えている	338	74.3
2	減っている	10	2.2
3	変わっていない	107	23.5
	全体	455	100.0

(表 4)

問 : 精神疾患に関して、一般の方々の知識は以前に比べて正確になったと思いますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	正確になっている	83	18.1
2	誤解は減っていない	186	40.6
3	どちらともいえない	189	41.3
	全体	458	100.0

(表 5)

問 : 新聞による精神疾患に関する情報は信頼できると思いますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	信頼できるものが多い	29	6.3
2	どちらかといえば信頼できるものが多い	171	37.3
3	どちらともいえない	223	48.7
4	どちらかといえば信頼できるものが少ない	27	5.9
5	信頼できるものが少ない	8	1.7
	全体	458	100.0

(表 6)

問 : 雑誌による精神疾患に関する情報は信頼できると思いますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	信頼できるものが多い	25	5.5
2	どちらかといえば信頼できるものが多い	138	30.4
3	どちらともいえない	245	54.0
4	どちらかといえば信頼できるものが少ない	35	7.7
5	信頼できるものが少ない	11	2.4
	全体	454	100.0



(表 7)

問 : テレビによる精神疾患に関する情報は信頼できると思いますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	信頼できるものが多い	34	7.4
2	どちらかといえば信頼できるものが多い	146	31.7
3	どちらともいえない	228	49.6
4	どちらかといえば信頼できるものが少ない	40	8.7
5	信頼できるものが少ない	12	2.6
	全体	460	100.0

(表 8)

問 : 書籍による精神疾患に関する情報は信頼できると思いますか(選択肢から一つ)

No.	回答選択肢	回答数	%
1	信頼できるものが多い	100	21.8
2	どちらかといえば信頼できるものが多い	221	48.3
3	どちらともいえない	125	27.3
4	どちらかといえば信頼できるものが少ない	11	2.4
5	信頼できるものが少ない	1	0.2
	全体	458	100.0